



写真提供：日刊スポーツ



写真提供：日刊スポーツ

小田卓朗選手 ウィリアムソン師円選手 夢・希望・感動をありがとう

両選手がオリンピックの大舞台で力走

心ひとつに熱の入ったパブリックビューイング（ふるさと応援会）の様子をご紹介します。

2月18日（日）



ウィリアムソン師円選手 男子チームパシュートに出場



午後7時に始まったパブリックビューイングに約250人が来場。

必勝はちまきやオリジナルTシャツ、スティックバルーンなどを使い、大歓声で選手を後押ししました。

決勝に進出できる4位に、0秒44差に迫る3分41秒62の5位となりましたが、最後まで力走する師円選手にたくさんの拍手が沸き起こりました。



また、この日は13日に行われた小田選手、師円選手が出場した男子1,500mの結果が報告されました。

師円選手は1分46秒21で10位、日本記録保持者の小田選手は1分45秒44で、1988年のカルガリーオリンピックに並ぶ日本人最高位の5位入賞を果たしました。

2月23日（金）

小田卓朗選手 男子1,000 mに出場



この日は、午後6時にパブリックビューイングがスタート。

1,000 mに出場する小田選手を応援するため、スケート少年団や仕事帰りに立ち寄ってくれた町民の皆さんで、この日も会場はいっぱいになりました。

競技が始まる前には、スケート少年団などの皆さんが、ももいろクローバーZの歌に合わせた息ぴったりの踊りを披露し、会場を盛り上げてくれました。



小田選手は第14組に登場。1分8秒568のタイムはこの時点で暫定2位となり、会場内のボルテージは一気に頂点に。その後は、残念ながら他の選手にタイムを追い抜かれましたが、1998年の長野オリンピック以来、20年ぶりとなる5位入賞を果たしました。

2月24日（土）

ウイリアムソン師円選手 男子マススタートに出場



今回のオリンピックから新種目となったマススタートに師円選手が予選1組で登場し、3位で決勝進出を決めました。午後10時から行われた決勝では6位でゴールしましたが、中間ポイントを獲得できず最終結果は惜しくも11位に。

最後まであきらめずに力走する姿に、会場からは大歓声が沸きあがりました。



たくさんの **ご声援**
本当にありがとうございました



競技結果

小田卓朗選手

- 男子 1,000 m 1分8秒568 5位入賞
- 男子 1,500 m 1分45秒44 5位入賞

ウイリアムソン師円選手

- 男子 1,500 m 1分46秒21 10位
- 男子チームパシュート 3分41秒62 5位
- 男子マスタート 11位 (6位でゴールしましたが、獲得ポイントの関係で11位となりました)

